

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
結城地区

平成28年 6月

茨城県結城市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	地区人口	人	19,306	20,100	20,930	確定 見込み ●	○	あり なし	20,764	H28年4月	○	— □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業と合わせた都市基盤施設の整備に伴い、良好な住環境が整ってきたことにより、地区人口の増加につながっている。
指標2	公園を管理するボランティア団体数	団体	7	9	13	確定 見込み ●	○	あり なし	12	H28年4月	○	— □ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	地区内の既存公園や土地区画整理事業にあわせて街区公園が整備されたことにより、地区住民による公園の維持管理する団体が組織され、住民主体の地域活動につながっている。
指標3	袖関連施設入場者数	人/年	14,600	16,700	16,907	確定 見込み ●	○	あり なし	39,134	H28年4月	○	施設入場者数の対象となる施設等が変わったため ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	都市再生整備計画に基づく取り組みや、御手杵の檜のブーム等により、結城市への来訪者や結城袖関連施設への入場者の増加につながっている。
指標4						確定 見込み		あり なし		H一年一月		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H一年一月		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	—	—	/	—	確定 見込み	/	/	—	H一年一月	/	—	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	—
その他の数値指標2	—	—	/	—	確定 見込み	/	/	—	H一年一月	/	—	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	—
その他の数値指標3	—	—	/	—	確定 見込み	/	/	—	H一年一月	/	—	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	—

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

都市再生整備計画(第3回変更)

結城地区

茨城県 結城市

平成26年2月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	茨城県	市町村名	結城市	地区名	結城地区	面積	398 ha
計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度	交付期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度				

### 目標

「安全で安心して暮らせる住環境の整備と歴史的文化的資源を活用したまちづくり」

目標 1 安全・安心・快適な都市基盤の整備による人口定着

目標 2 公園整備の推進と、住民参加による街区公園等の維持管理の促進

目標 3 歴史的街並みや伝統産業などの地域資源を活かしたまちづくり・景観づくりの啓発・推進による、ユネスコ無形文化遺産「結城紬」の街としての魅力の向上

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

本地区は、JR水戸線結城駅を中心に広がる結城市の市街地であり、駅北部は由緒ある寺社・見世蔵などが残る街並みや「結城紬」に代表される伝統産業など結城市の発展の歴史を色濃く残す既成市街地、駅南部は近代的な都市環境を有する新しい市街地である。

これまで、駅北部では、人口減少や既存商店街の空洞化などの問題に対応するため、歴史的環境を活かした紬のふる里「結城」として魅力と活力ある中心市街地の再生を図りながら、商業・観光の振興やそれを支える人口の定着のため、組合土地画整理事業による基盤整備を進め、良好な住宅地の供給に努めてきた。また、駅南部では、道路等の基盤施設が未整備のまま進行する無秩序な宅地化に対応するため、土地画整理事業による総合的な基盤整備を推進し新しい市街地の形成を図ってきた。さらに、平成18年度から平成22年度においては、それぞれの地区において都市再生整備計画を実施し、土地画整理事業をはじめとする都市基盤の整備や住民参加のソフト事業などを実施し、一定の事業効果を得ることができた。

しかしながら、全国的な傾向と同様、本市においても宅地需要は依然低迷が続いており、土地画整理事業地区内にも未利用地が相当存在しており、事業財源である保留地処分が予定通り進まないなど、事業の長期化が懸念されている。一方、平成22年11月、「結城紬」が「ユネスコ無形文化遺産」に登録され、本市が全世界に広く紹介されたことを契機に、今後の観光・伝統産業の活性化や国際交流の活発化に資する地域資源として、さらに有効に活かしていくことにより、土地画整理事業による道路・公園等の基盤整備と合わせて、街のにぎわいと魅力の向上に努め、居住人口や来訪者（交流人口）の更なる拡大につなげていくことが期待される。

#### 課題

- ・ 北西部地区及び南部地区における都市再生整備計画により、区画道路や公園などの都市基盤の整備が着実に進められ、居住人口や来訪者の増加に一定の効果が得られたことから、今後はこの成果を生かしつつ、土地画整理事業による快適な都市基盤の整備や、防災・防犯・交通安全対策など安心・安全環境の強化により、結城地区としての一体的な魅力・活力づくりを推進し、更なる定住の促進につなげていく必要がある。
- ・ 土地画整理区域内の公園整備を推進するとともに、都市再生整備計画(一期目)のワークショップ等による住民参加の公園づくりの検討の成果を引継ぎ、街区公園など身近な公園の維持・管理に、住民の主体的な参加を促していく必要がある。
- ・ 「ユネスコ無形文化遺産」に登録された「結城紬」が全世界に広く紹介されたことを契機に、観光・伝統産業の活性化や国際交流などへの更なる活用を図り、「結城紬」の街としての魅力の高めていくため、これまでの都市再生整備計画の成果である観光ガイドブックや景観づくりガイドラインを活用したまちづくり・景観づくりを促すとともに、紬関連施設をはじめとする地域資源の活用に市民とともに取り組み、来訪者の増加を図っていく必要がある。

#### 【第5次結城市総合計画】

歴史や伝統工芸、自然環境など豊かな地域資源を活用したまちづくりを市民とともに進め、誰もが住みやすい「みんなでつくる活気と風情のある快適なまち・結城」を目指すべき将来像とし、各地域特性に応じた土地利用により適切な都市機能の配置と集積に努める。また、地域特性を踏まえた各種都市拠点の形成と道路網等の交流ネットワーク基盤の整備を、景観等に配慮しながら進める。

#### （都市空間整備の基本方針）

「安全安心に暮らせるまちづくり」：防災、防犯、ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりを推進する。

「豊かな地域資源を活用したまちづくり」：歴史的街並みや田園風景を活用し、にぎわいと魅力の向上を図り、まちの活気の創出や交流人口の拡大を図る。

「快適に暮らせるコンパクトなまちづくり」：都市機能の高度化や効率的な土地利用により快適に暮らせるコンパクトなまちづくりを目指す。

#### 【結城市都市計画マスタープラン】

＜地域別構想：結城南部地区＞テーマ：「多彩な交流が営まれる近代的な都市環境の中で結城市の新たな活力と文化を創造する街」

広域交流拠点や産業拠点の形成による新たな活力の創造、土地画整理事業の一層の推進による計画的な商業地・住宅地ゾーンからなる近代的なまちづくりを推進する。

＜地域別構想：結城北部地区＞テーマ：「歴史と文化に彩られた風情の中で、賑わいとふれあいのある街」

“結城市の玄関口・顔”として、様々な交流活動を支える利便性の高い都市機能や歴史・文化を活かした魅力ある街なみ景観を有する活力ある中心市街地を形成するとともに、周辺地域においては良好な居住環境と生き生きとした地域コミュニティを有する快適な市街地づくりを推進する。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1 地区人口	人	地区の居住人口(住民基本台帳)	土地画整理事業等による都市基盤の整備により、良好な住宅地を供給し、人口定着を図る。	19,306 人	平成22年度	20,100 人	平成27年度
2 公園を管理するボランティア団体数	団体	地区内の街区公園について発足した公園を管理するボランティア団体の数	公園整備やワークショップ等による公園を身近に接する機会を活かして、住民参加による公園を維持・管理する活動を促進する。	7団体	平成22年度	9団体	平成27年度
3 紬関連施設入場者数	人	紬関連施設の入場者数	「結城紬」のユネスコ無形文化遺産への登録を契機とし、知名度アップの効果を都市再生整備計画(一期目)の成果を活用しながら、新たな歴史的街並みの利用促進による紬関連施設の入場者数の増加を図る。	14,600人	平成22年度	16,700人	平成27年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1:安全・安心・快適な都市基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業等により区画道路等の都市基盤整備を推進し、快適な住宅地の供給により定住を促進する。</li> <li>・保留地の販売促進のため、土地区画整理事業のPR広報活動を推進する。</li> <li>・防災施設(防火水槽)の設置, 歩行者専用道路における交通安全のための対策(交差点カラー舗装)などにより, 安全・安心な生活環境の更なる向上を図り, 定住化に寄与する。</li> </ul>	<p>■道路事業(基幹事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道3382号線</li> </ul> <p>■土地区画整理事業(基幹事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結城南部第二地区, 四ツ京地区, 富士見町地区, 逆井地区</li> </ul> <p>■地域生活基盤施設(基幹事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災施設(防火水槽:耐震性貯水槽)</li> </ul> <p>■高質空間形成施設(基幹事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カラー舗装(歩行者専用道路交差点)</li> </ul> <p>■地域創造支援事業(提案事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯灯(四ツ京地区ほか)</li> </ul> <p>○土地区画整理事業に係るPR広報活動(保留地販売促進PR)(関連事業)</p> <p>○防犯カメラの設置(結城駅)(関連事業)</p> <p>○事業効果分析(関連事業)</p> <p>○土地区画整理事業(関連事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四ツ京地区, 結城南部第三地区</li> </ul>
<p>整備方針2:公園整備の推進と, 住民参加による街区公園等の維持管理の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の避難場所となる近隣公園, 地域住民の日常のふれあい・憩いの場となる街区公園の整備を図る。</li> <li>・四ツ京近隣公園(北西部地区)の公園づくりワークショップに引き続き, (仮称)下り松中央公園の整備計画立案に際して, 住民参加によるワークショップを開催するに, こうした住民参加を契機に身近な街区公園等の維持・管理への市民の関心を高め, 公園を管理するボランティア団体の設立などを促進していく。</li> <li>・市民参加のワークショップは「安全で安心な街づくりワークショップ」として位置づけ, 避難施設としての(仮称)下り松中央公園の整備計画や, 結城地区全体におけるまちづくりについて, 市民とともに検討を行う。</li> </ul>	<p>○安全で安心な街づくりワークショップの開催(関連事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称)下り松中央公園</li> <li>・結城地区</li> </ul> <p>○公園(関連事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣公園整備事業(四ツ京近隣公園, (仮称)下り松中央公園)</li> <li>・街区公園整備事業(南部第三地区 1箇所, 富士見町地区 1箇所, 逆井地区 1箇所)</li> </ul>
<p>整備方針3:歴史的街並みや伝統産業などの地域資源を活かしたまちづくり・景観づくりの啓発・推進による, ユネスコ無形文化遺産「結城紬」の街としての魅力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見世蔵の改修による歴史的街並みの利用促進を図る。</li> <li>・住民主体の景観づくりを促していたため, 景観形成ガイドラインの周知・啓発を図る。</li> <li>・ユネスコ無形文化遺産「結城紬」や地域に残る見世蔵など地域資源を活用したまちづくりに関して, 住民参加のワークショップの開催を通して, 意識啓発・PRを推進する。</li> </ul>	<p>■既存建造物活用事業(基幹事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見世蔵の改修工事</li> </ul> <p>○景観形成ガイドライン作成ワークショップの開催(関連事業)</p> <p>○(仮称)見世蔵活用及びユネスコPRのワークショップの開催(関連事業)</p> <p>○結城紬のPR事業(関連事業)</p> <p>○結城市街づくり基本方針検討業務(関連事業)</p>
<p>その他</p> <p>○都市再生整備計画について</p> <p>平成18年度から平成22年度の期間, 北西部地区と南部地区において各々に都市再生整備計画を策定・実施しており, 土地区画整理事業をはじめとする都市基盤の整備や住民参加のソフト事業などを実施し, 一定の事業効果を得ることができた。</p> <p>○住民参加のソフト事業の継続的推進について</p> <p>平成18年度から平成22年度の期間に実施された北西部地区における都市再生整備計画(一期目)では, 近隣公園(四ツ京近隣公園)の整備に際し, 住民参加による公園づくりワークショップが開催され, その成果に基づく公園整備が二期目にあたる本都市再生整備計画で実施されることなどを契機に, 公園づくりに関する市民意識は確実に高まっており, 身近な街区公園の管理を行う「公園愛護協会などのボランティア団体」が各公園で発足するなどの波及効果が現れている。また, 街なか再生市民会議で議論された「景観形成ガイドライン」についても, パンフレットによる周知・啓発促進の段階を迎えている。</p> <p>本都市再生整備計画においては, こうしたこれまでの成果の発現時期であることを十分に認識し, 住民参加のソフト事業の継続・発展に積極的に取り組んでいくこととする。</p>	



都市再生整備計画の区域

結城地区(茨城県結城市)	面積	398 ha	区域	結城市大字結城の一部
--------------	----	--------	----	------------

